

五所川原市

---

都市計画マスタープラン「概要版」

# 五所川原市 都市計画マスタープラン

— 都市計画に関する基本的な方針 —

【2013 ▶ 2033】

「活力ある・明るく住みよい豊かなまち」



平成25年3月

五所川原市

## □ 都市計画マスタープランとは

### ■ 目的

都市計画マスタープランとは、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として定めるものであり、「市の総合計画」や県が広域的視点から都市計画区域の整備、開発及び保全の方針を定める「都市計画区域マスタープラン」などの内容に即し、都市づくりの方向性をしめすものです。

### ■ 役割

- ① 本市の目指すべき将来都市像を明確に示し、都市計画に対する市民の理解を深めます。
- ② まちづくりの基本的な整備方針を示すとともに、上位計画や他の施策との整合性・総合性を確保します。
- ③ 市民主体のまちづくりにより、今後のまちづくりに対する参加の気運を高めます。

## □ 全体構想

### ■ まちづくりの将来像

本市は、豊かな自然や歴史、文化に恵まれ、農業を基幹産業とし、商都という面も備えた西北圏域の中心都市として発展してきました。

今後も、豊富な自然、歴史、文化資源を活かして発展するとともに、訪れた人が住みたくなる、住んでいる人が住み続けたいと思う魅力あふれるまち、誇りを持って次世代に受け継ぐことの出来るまちを目指します。

#### 五所川原市のまちづくりの将来像

「活力ある・明るく住みよい豊かなまち」

### ■ まちづくりの目標



写真・鈴木加寿彦

(軽トラ市)

(バリアフリー化  
した市街地)



(1) 産業の振興・発展による  
活力のあるまちづくり

(2) 豊かな自然と共生する  
潤いのあるまちづくり

目標年次：平成 45 年 (2033)

目標人口：47,000 人

土地利用：735ha (用途地域)

(3) 都市機能が充実した安全  
で住みよいまちづくり

(4) 市民参画型のまちづくり

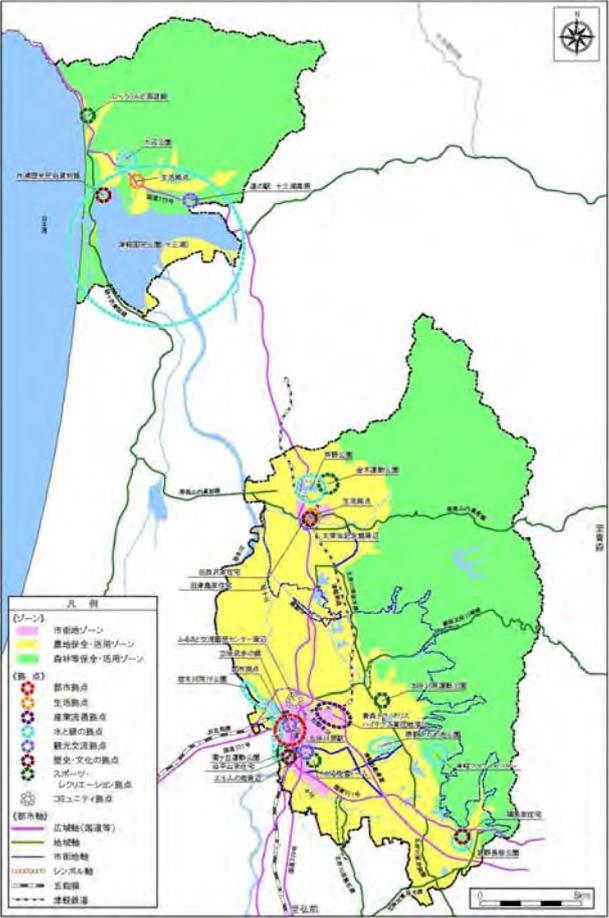


(霧山からの眺望)

(まちづくり  
ワークショップ)



## ■ 将来都市構造図（市全域）



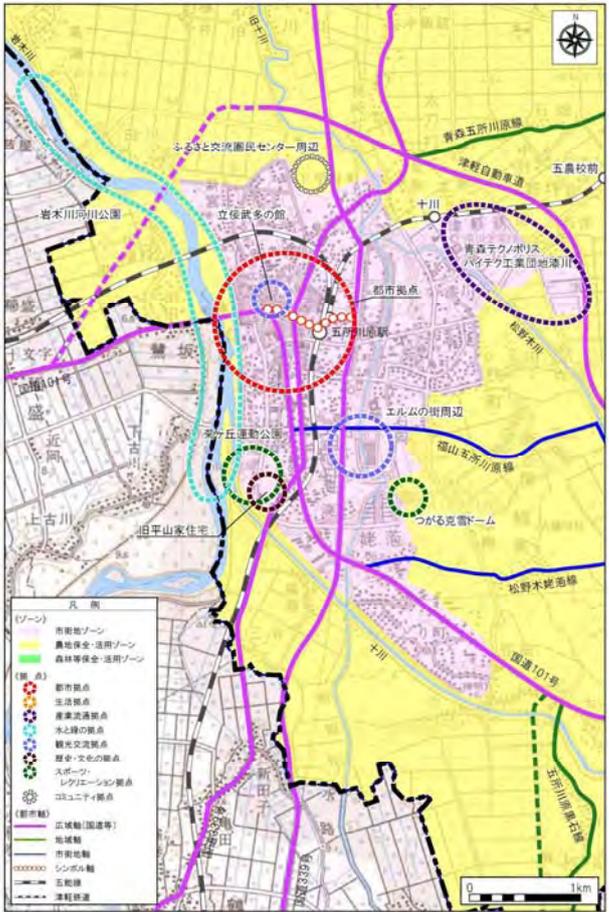
## ■ ゾーン

市街地ゾーン	五所川原地域と金木地域の市街地を「市街地ゾーン」と位置づけ、都市機能の集積と都市基盤施設の整備を促進し、コンパクトで利便性の高い市街地の形成を図ります。
農地保全・活用ゾーン	市街地を取り囲む農地、集落地の範囲を「農地保全・活用ゾーン」と位置づけ、良好な農地の維持保全を図るとともに、点在する集落地については、無秩序な市街化を抑制しつつ、既存集落地の維持・活性化を図ります。
森林等保全・活用ゾーン	市域東部の森林地域及び市浦地域の集落地を除く範囲を「森林等保全・活用ゾーン」と位置づけ、森林等の保全を図りつつ、市民の憩い、観光、レクリエーションの場としての活用を図ります。

## ■ 拠点

都市拠点	五所川駅から つがる総合病院周辺を「都市拠点」と位置づけ、行政・商業・業務・医療・福祉などの各種都市機能が集積した拠点の維持・形成を図ります。
生活拠点	金木総合支所及び市浦総合支所周辺を「生活拠点」と位置づけ、地域の日常生活に必要な都市機能の集積を図ります。
産業流通拠点	青森テクノポリスハイテク工業団地漆川を「産業流通拠点」と位置づけ、工業・業務・物流棟の産業機能の集積・誘致を図ります。
水と緑の拠点	津軽国定公園（十三湖）、大沼公園、岩木川河川公園、狼野長根公園、津軽フラワーセンター、埴野沢ため池公園、芦野公園を「水と緑の拠点」と位置づけ、水と緑のネットワークの形成に努めます。
観光交流拠点	立佞武多の館、エルムの街周辺、太宰治記念館周辺、道の駅 十三湖高原を「観光交流拠点」と位置づけ、交流人口の増加による都市の活力向上を目指し、広域観光に係わる情報発信、交流機能の強化・集積を図ります。
歴史・文化の拠点	旧平山家住宅・旧津島家住宅（国指定重要文化財）、楠美家住宅（市指定文化財）、旧西沢家住宅（国登録有形文化財）、市浦歴史民俗資料館を「歴史・文化の拠点」と位置づけ、歴史・文化資源に係わる情報発信、祭りや催事などのイベントの活性化を図ります。
スポーツ・レクリエーション拠点	菊ヶ丘運動公園、五所川原運動公園、つがる克雪ドーム、金木運動公園、し〜うらんど海遊館を「スポーツ・レクリエーション拠点」と位置づけ、スポーツ・レクリエーションの場としての活用を図ります。
コミュニティ拠点	ふるさと交流圏民センター周辺を「コミュニティ拠点」と位置づけ、芸術文化の振興及び住民福祉の向上を図ります。

## ■ 将来都市構造図（拡大図）



## ■ 都市軸

広域軸	JR五能線と国道、高規格道路を「広域軸」と位置づけ、利便性、観光、産業の活力向上のため、広域都市間の交流・連携を支える交通ネットワークの形成を図ります。
地域軸	主要地方道鱒ヶ沢蟹田線、屏風山内真部線、五所川原金木線、青森五所川原線、五所川原黒石線、五所川原浪岡線、五所川原岩木線を「地域軸」と位置づけ、広域からの交通を円滑に市内へ誘導する軸として構成を図るとともに、津軽鉄道も「地域軸」と位置づけ、道路網を補完する軸として構成を図ります。
市街地軸	一般県道福山五所川原線、松野木姥滝線、喜良市嘉瀬停車場線を「市街地軸」と位置づけ、地域内及び地域間交通を円滑に処理する軸として構成を図ります。
シンボル軸	市道大町大通り線、一般県道五所川原停車場線、五所川原駅（連絡通路）、市道駅東部 35 号を「シンボル軸」と位置づけ、五所川原駅の東西の市街地を連絡し、都市機能の連携を強化し、本市の顔としての役割を担う軸として構成を図ります。

## □ 部門別構想

### ■ 土地利用の方針

#### ○ 都市的土地利用

- ◆ 市街地の状況、社会経済情勢の変化や市民のライフスタイルの多様化に対応した用途地域の見直しを検討しつつ、中心市街地の未利用地を有効活用し、活性化を図るとともに、青森テクノポリスハイテク工業団地漆川の一部は、用途地域の変更を行い、企業誘致の促進を図ります。

#### ○ 自然的土地利用

- ◆ 優良な農地を保全し、無秩序な開発を抑制するとともに、大規模な公園・緑地・森林等については、市民が身近に水や緑にふれあい、日常生活に潤いを与える場としての活用と、良好な自然環境の維持保全を図ります。

### ■ 交通体系の方針

#### ○ 道路

- ◆ 幹線道路等の主要な道路は、道路ネットワークにおける役割を果たすため、道路機能の向上を促進するとともに、生活道路については、適正な整備を推進し、市民の安全性・快適性・利便性の向上を図ります。また、長期にわたり整備が進んでいない都市計画道路については、必要性や事業の実現性を評価し、継続・変更・廃止を検討します。

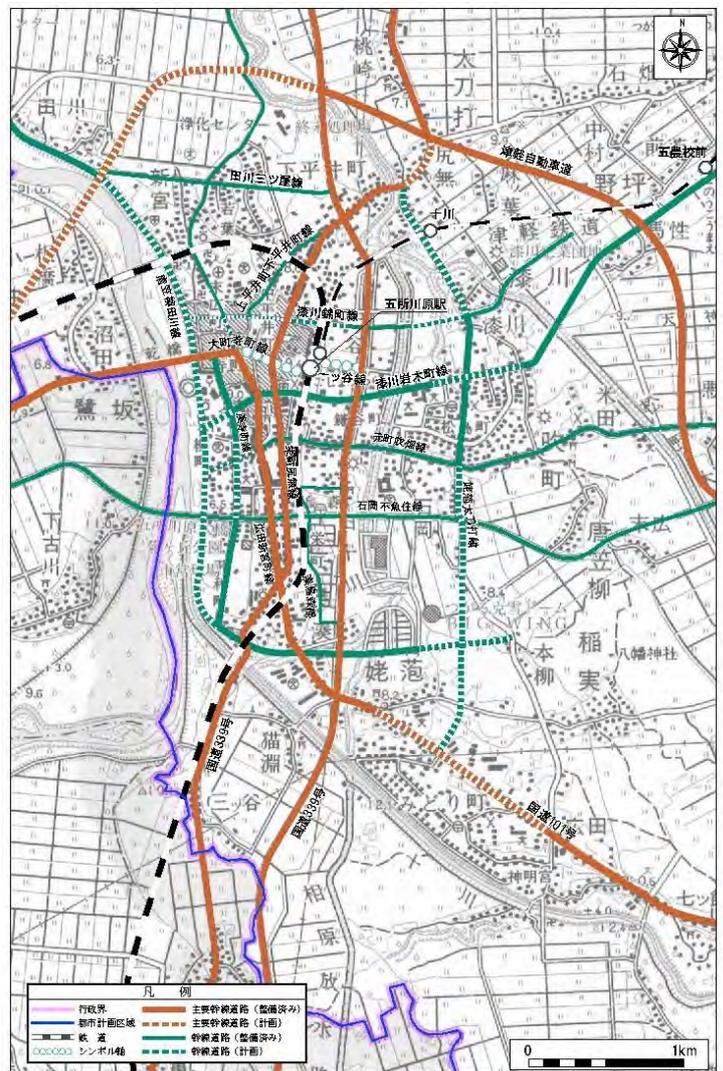
#### ○ 公共交通

- ◆ 市民のニーズを踏まえた公共交通の維持継続を図り、市民生活の利便性向上に努めるとともに、東北新幹線との連携等による交流人口の増加に対応する公共交通ネットワークの構築を図ります。

### ■ 土地利用の方針図



### ■ 交通体系の方針図



### ■ 市街地整備の方針

#### ○ 都市拠点

- ◆ 新市庁舎、JR五所川原駅周辺、立佞武多の館周辺の整備を推進し、新市庁舎を中心とした、利便性が高く賑わいのある市街地の形成により、中心市街地の活性化を図ります。

#### ○ 生活拠点

- ◆ 金木、市浦の総合支所周辺について、それぞれの地域特性を活かした都市施設の整備を推進し、地域に密着した行政、医療、商業等のサービスの充実・向上を図ります。

## ■ 都市環境整備・保全の方針

### ○ 都市環境の整備

- ◆ 4R の推進によるごみの減量化やごみの不法投棄の防止、上下水道施設の整備や適正な運用、新エネルギーの生産や活用などにより、環境問題に対応した持続可能なまちづくりを推進するとともに、市民の憩いと安らぎの空間を確保するため、公園・緑地の整備状況を勘案した適正な配置、規模等の検討の基に計画的な整備に努めます。

### ○ 自然環境の保全

- ◆ 農地や山林、河川や湖沼などの水辺については、生産の場や親水・コミュニティ活動の場として活用するとともに、生態系の保全や多面的な環境保護機能の維持を図るため、自然環境の保全に努めます。

### ○ 市民等との協働による環境保全

- ◆ 環境保全に対する意識の醸成を図るとともに、住民参加による環境美化や保護活動への支援・促進を図り、市民・企業・観光客などの理解と協力を得ながら、協働で環境保全を促進します。

## ■ 景観保全・形成の方針

### ○ 景観の保全・形成

- ◆ 市内の各所から望める雄大な自然景観や歴史的な建造物などを活かした本市らしい景観の保全・形成を図るとともに、景観保全・形成のための様々なルールの検討や活用により継続的な維持管理を促進し、保全と活用に努めます。

### ○ 市民との協働による景観保全・形成

- ◆ 景観の保全と形成に関する市民の活動を支援するとともに、身近な景観づくりを行うための啓発活動などに努め、景観保全に対する意識の醸成を図り、市民、企業等と行政の協働による継続的な景観保全・形成に取り組みます。

## ■ 安全安心なまちづくりの方針

### ○ 防災のまちづくり

- ◆ 地域の実情に即した防災計画の見直しを検討し、土砂災害・洪水及び津波ハザードマップの普及、中心市街地に設置した耐震性貯水槽などの防災施設を活用した防災訓練の実施により、市民の防災意識の高揚を図るとともに、自主防災組織の育成等に努め、総合的な防災体制の確立を図ります。

### ○ 医療・福祉等

- ◆ 西北五地域の自治体病院機能再編計画に基づき、医療機能の充実と安定的な医療の提供を図るとともに、高齢者や多様化する医療ニーズに対応した医療、介護、福祉、等に関するサービスの充実に努めます。

## ■ 活力のあるまちづくりの方針

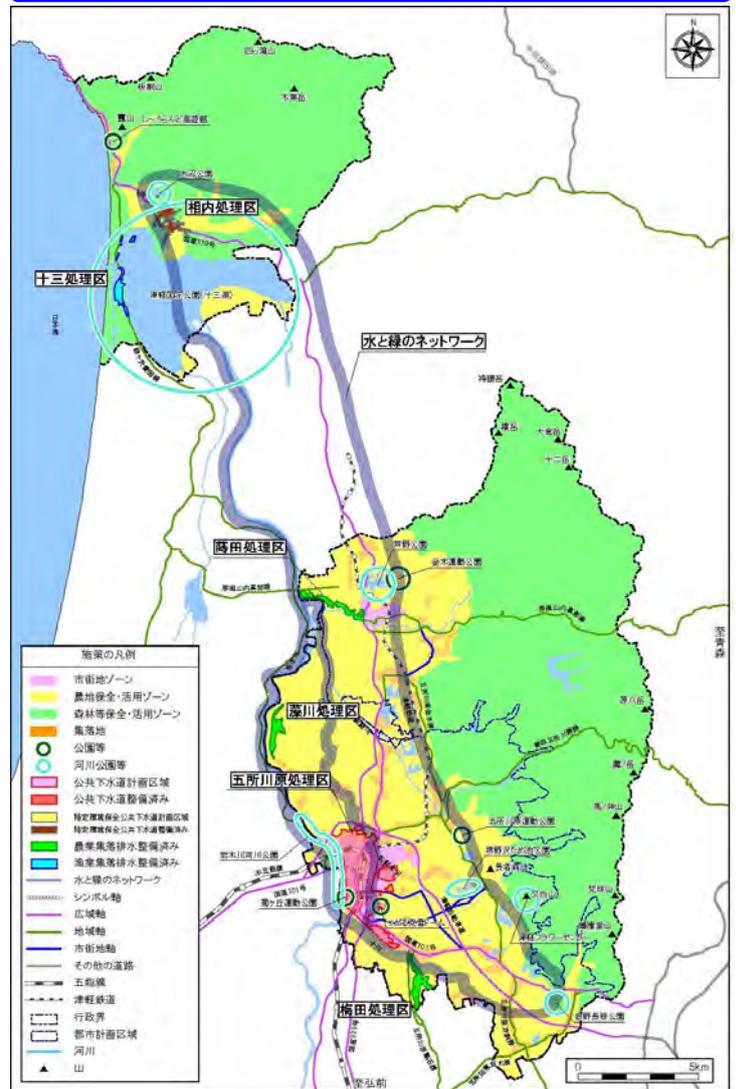
### ○ 産業の活力強化

- ◆ 生産物のブランド化や地域内加工による付加価値の向上、1次産業を基本とした2次産業及び3次産業が連携する6次産業の構築に努め、産業基盤の強化を図るとともに、観光資源の積極的な情報発信や観光客の受け入れ態勢の充実に努め、観光力の強化を図ります。

### ○ 人々の活力強化

- ◆ まちづくり活動、生涯スポーツ祭りや伝統文化行事などへの参加を促進し、人材育成に努めるとともに、地域間交流を深め、市民が一体となって市の活性化を目指すまちづくりを促進します。

## ■ 都市環境整備・保全の方針図



つがる総合病院完成イメージ



赤〜いりんご「御所川原」



十三湖産大和しじみ

## □ 地域別構想

### ■ 五所川原市街地地域

#### ～五所川原市街地地域の将来像～

津軽半島の中心都市として、  
利便性が高く賑わいのあるまち

#### ◇ まちづくりのワークショップの意見

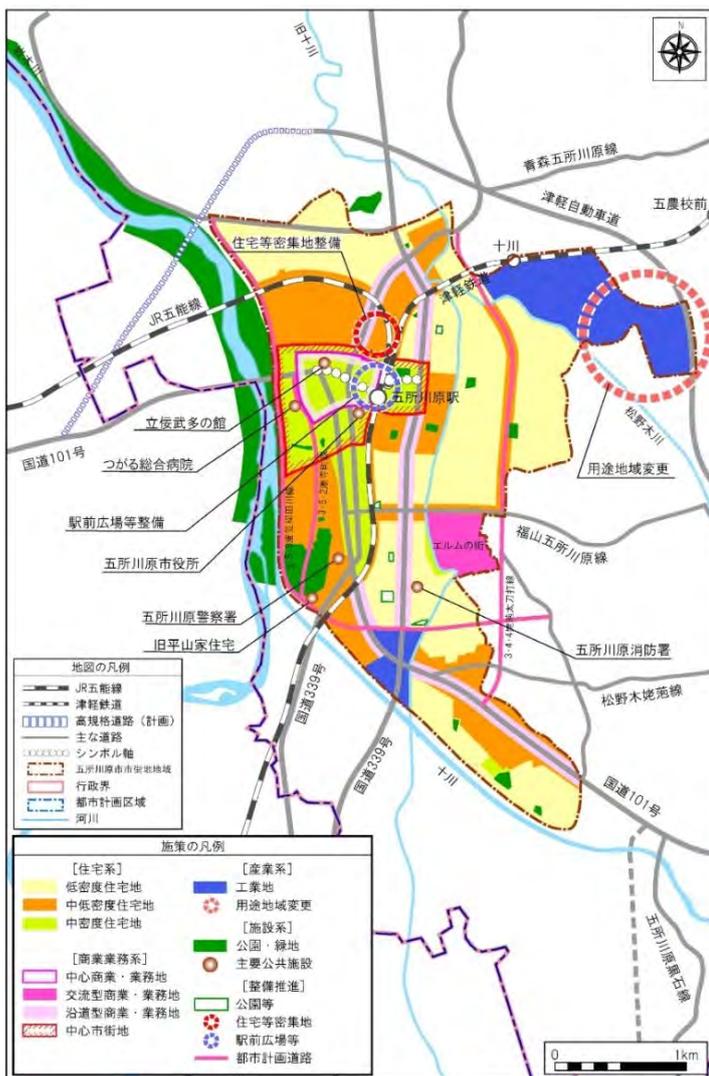
##### ○ 良いところ、残したいところ

- ・桜並木やリンゴ並木などの整備された町並み
- ・立佞武多の館
- ・趣のある歴史的建造物
- ・菊ヶ丘公園などの市民の憩いの場
- ・市全体を盛り上げようとする市民の情熱

##### ○ 問題点、改善したいところ

- ・生活道路の適正な管理
- ・駅周辺の整備、狭あい道路
- ・中心市街地の空き地、空き家
- ・老朽化した危険な建物
- ・公園施設の適正な整備、管理
- ・施設のいいところのアピール
- ・定住、交流人口の確保
- ・宿泊施設が少ない
- ・エルムの街周辺の渋滞
- ・医療施設の連携

#### ◇ 地域づくりの方針図（五所川原市街地地区）



#### ◇ 地域づくりの方針

##### ○ 土地利用の方針

- ◆ 中心市街地においては、都市再生整備計画事業の活用や地域の活性化活動と連携しながら、既存の都市基盤の有効活用、観光情報の発信等により、人々が集う賑わいのある中心市街地の形成を図ります。
- ◆ 空き地や空き店舗などの低・未利用地については、ポケットパークや駐車場、若者の需要に対応した店舗などとして有効活用を促進し、利便性が高く若者も訪れ集いやすい機能の充実を図ります。
- ◆ 青森テクノポリスハイテク工業団地漆川は、産業の活性化を図るため、用途地域の変更を行うことで低・未利用地の有効利用を推進し、多様な業種の企業誘致を促進します。

##### ○ 都市構造・都市環境整備の方針

- ◆ JR五所川原駅周辺は、本市の玄関口であり交通の要衝であることから、路線バスやタクシー、駐車場、駐輪場などを考慮した駅前広場の整備について検討するとともに、来訪者に分かりやすい標識やサインなどの設置について検討します。また、駅前広場等の検討にあたっては、駅の東西を結ぶ連絡通路の設置について併せて検討します。
- ◆ 住宅等密集地区は、市街地交通の安全確保と防災機能の向上を図るため、狭あい道路の改善や除排雪対策などの促進を図ります。
- ◆ エルムの街周辺やつがる総合病院設置により予測される交通渋滞緩和のため、都市計画道の整備を推進します。
- ◆ 日常的に利用できる街区公園や近隣公園などの整備を推進し、居住環境の向上を図るとともに、既存の公園等については、適正な維持・管理や有効活用の方法などについて、地域とともに検討していきます。
- ◆ 菊ヶ丘運動公園などの公園やスポーツレクリエーション施設は、市民の憩いとスポーツレクリエーションの場としての活用を推進するとともに、各種イベント会場としての活用を促進し、交流人口の確保に努めます。
- ◆ 旧十川などの市街地の水辺の空間は、適正な河川改修による河川機能の充実を図るとともに、市民にやすらぎを与える空間として保全を図ります。
- ◆ つがる総合病院と周辺医療機関等との連携を促進し、医療や社会保障体制の充実した安全安心なまちづくりを図ります。
- ◆ 老朽化した危険な建物や適正な管理がなされていない空き家等については、空き家条例などを活用し、住民の安全性確保と治安維持向上を図ります。

## ■ 金木市街地地域

### ～金木市街地地域の将来像～

多様な文化があふれる、  
人々に愛されるまち

### ◇ まちづくりワークショップの意見

#### ○ 良いところ、残したいところ

- ・住み続けたいふるさと
- ・斜陽館
- ・津軽三味線
- ・充実した公共施設
- ・幼少時代に遊んだ金木川や弘前大学金木農場、神社など

#### ○ 問題点、改善したいところ

- ・雪捨て場が少ない
- ・弘前大学金木農場との連携
- ・津島家跡地の復元
- ・金木民俗資料館の活用
- ・老朽化した危険な建物
- ・道幅の狭い道路・路線バスの存続

### ◇ 地域づくりの方針

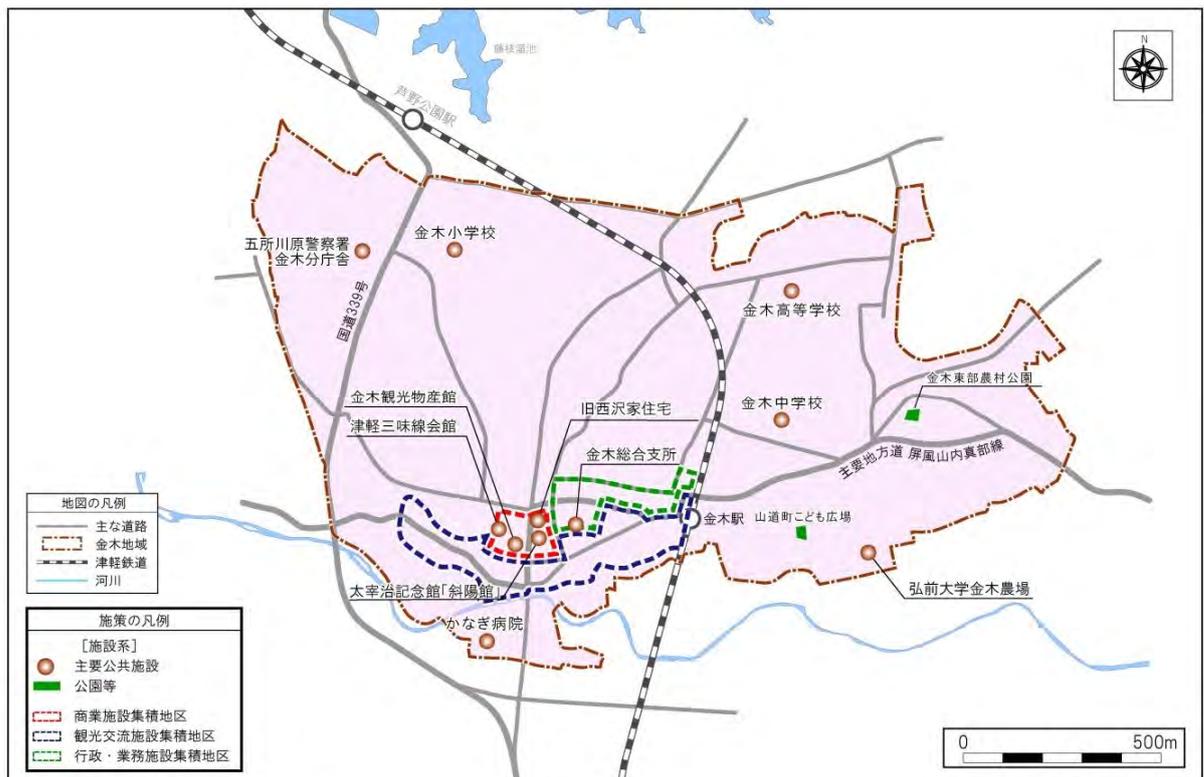
#### ○ 土地利用の方針

- ◆ 地域の個性を活かした街並みの形成や安全で快適な市街地の形成を図るため、準都市計画区域の指定などの都市計画制度の活用や、建築協定などの地域住民が主体となって定めるまちづくりのルールについて検討し、計画的な土地利用の誘導に努めます。
- ◆ 金木総合支所周辺については、地域住民日常生活の利便性を確保するため、既存の都市機能の維持継続を図るとともに、観光資源の集積、活用、情報発信を促進し、商業・業務活動の活性化を図ります。
- ◆ 本地域に多く存在する歴史的建造物や観光施設、周辺に広がる農地などと調和した個性あるまちづくりを図ります。

#### ○ 都市構造・都市環境整備の方針

- ◆ 金木駅から津軽三味線会館などの主要な観光施設周辺にかけて、来訪者を安全で快適に主要な観光施設へ誘導するため、生活道路等の整備、改良を図るとともに、来訪者に分かりやすい標識やサインなどの設置について検討します。
- ◆ 通学路については、優先的に街路灯や歩道の整備、道幅の拡幅などを行い、冬期間でも安全安心に通行できる道路の整備に努めます。
- ◆ 金木駅周辺については、パークアンドライド等を考慮した駅周辺の活用形態を検討し、津軽鉄道及び弘南バスとの連携を強化することで、それぞれの路線の利用者増加と路線の維持継続を図ります。
- ◆ 本地域の街並みづくりについて地域住民とともに検討し、優良な観光地としての街並みづくりに努めます。
- ◆ 歴史・文化、農業技術などの地域の伝統を後世に伝えるため、斜陽館周辺の観光施設については、引き続き優良な観光資源として充実を図るとともに、弘前大学金木農場との連携を強化するなど、多彩な地域資源の有効活用を促進します。
- ◆ 金木川は、地域住民との協働による適正な維持管理を行い、遊歩道など市民の憩いの空間として保全を図ります。
- ◆ 老朽化した危険な建物や適正な管理がなされていない空き家等については、空き家条例などを活用し、住民の安全性確保と治安維持向上を図ります。

### ◇ 地域づくりの方針図（金木市街地地域）



## ■ 田園集落地域

### ～田園集落地域の将来像～

田園と伝統を守る、  
潤いとやすらぎのあるまち

### ◇ まちづくりワークショップの意見

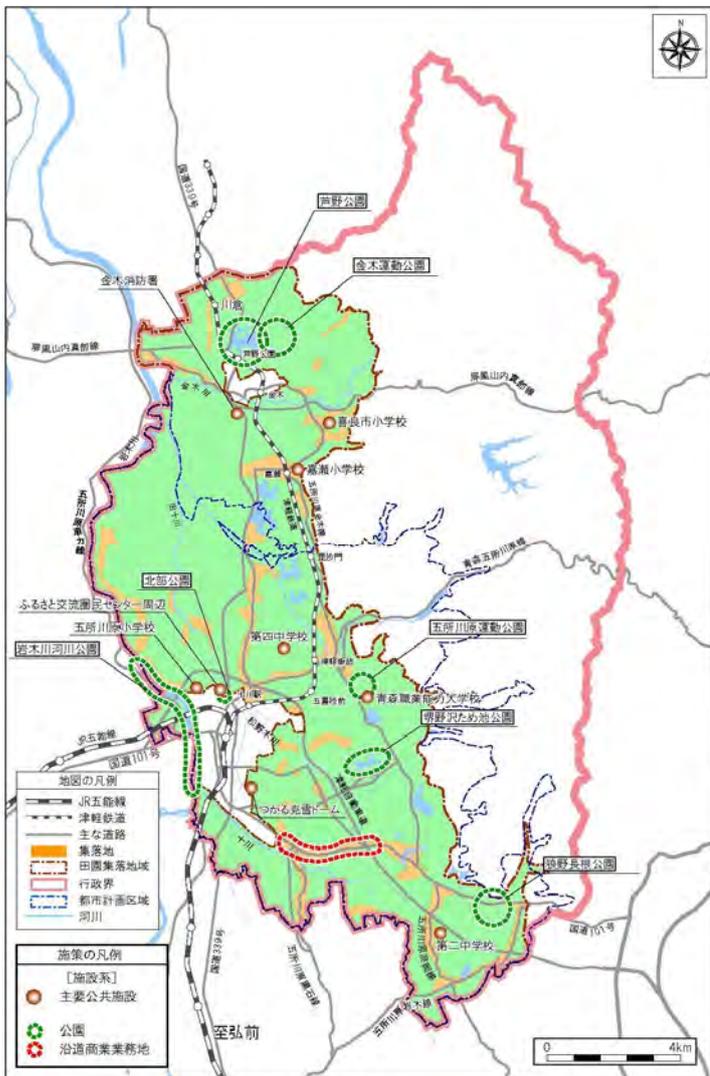
#### ○ 良いところ、 残したいところ

- ・美しい自然の景観
- ・神社や霊場などの歴史的建造物や伝統
- ・岩木川などの美しい自然景観
- ・芦野公園

#### ○ 問題点、 改善したいところ

- ・自然環境の保全
- ・未利用地の有効活用
- ・グリーンツーリズムの普及
- ・地域コミュニティ施設の設置

### ◇ 地域づくりの方針図（田園集落地域）



### ◇ 地域づくりの方針

#### ○ 土地利用の方針

- ◆ 美しい自然環境や優良な農地を保全するため、農業振興地域整備計画に基づく農業の振興を図り、基本的には農地の都市的土地利用を抑制します。
- ◆ 主要幹線道路や幹線道路沿道の商業・業務地は、周辺の土地利用や自然環境との調和を図りながら、それぞれの路線の通過交通のニーズに対応した良好な沿道商業・業務地の形成を図ります。

#### ○ 都市構造・都市環境整備の方針

- ◆ 各集落間や市街地と集落地を繋ぐ主要幹線道路や幹線道路については、その道路機能を確保するため、適正な維持管理を促進します。
- ◆ 生活道路や通学路については、緊急車両の交通確保などの防災機能の向上や危険箇所の改善、冬期間交通への対応などについて、地域住民とともに総合的な検討を行い住民の要望に対応した道路整備に努めます。
- ◆ 津軽鉄道の各駅周辺については、パークアンドライド等を考慮した駅周辺の活用形態を検討し、利用者増加と路線の維持継続を図るとともに、自動車交通の抑制による低炭素社会への貢献を目指します。
- ◆ 集落地と市街地を結ぶ重要な交通手段である路線バス等については、その維持存続を図り住民の利便性向上に努めます。
- ◆ 本市の原風景である雄大な田園風景を維持し、基幹産業である農業の生産基盤である農地を守るため、優良な農地の保全を図ります。
- ◆ 地域に点在する神社や霊場、伝統的な行事を観光資源として活用するとともに、各市街地地域や市浦地域の祭りや行事など観光資源との連携を強化し、グリーンツーリズムによる観光客の受け入れを促進するなど交流人口を確保することで、地域の経済活動の活性化を図り、持続可能な農村集落の形成を目指します。
- ◆ 狼野長根公園、堺野沢ため池公園や芦野公園は市民の憩いの場であるとともに、優良な観光資源として有効活用を促進し、住民と行政や企業等及び来訪者の協力のもと、適正な維持管理に努めます。
- ◆ 岩木川河川公園、つがる克雪ドーム、五所川原運動公園及び金木運動公園は、市民の憩いとスポーツ・レクリエーションやイベント開催の場として有効活用を促進するとともに、適正な維持管理に努めます。
- ◆ 老朽化した危険な建物や適正な管理がなされていない空き家等については、空き家条例などを活用し、住民の安全性確保と治安維持向上を図ります。

## ■ 市浦地域

### ～市浦地域の将来像～

豊かな自然や歴史と共生する、  
安全安心な癒しのまち

### ◇ まちづくりワークショップの意見

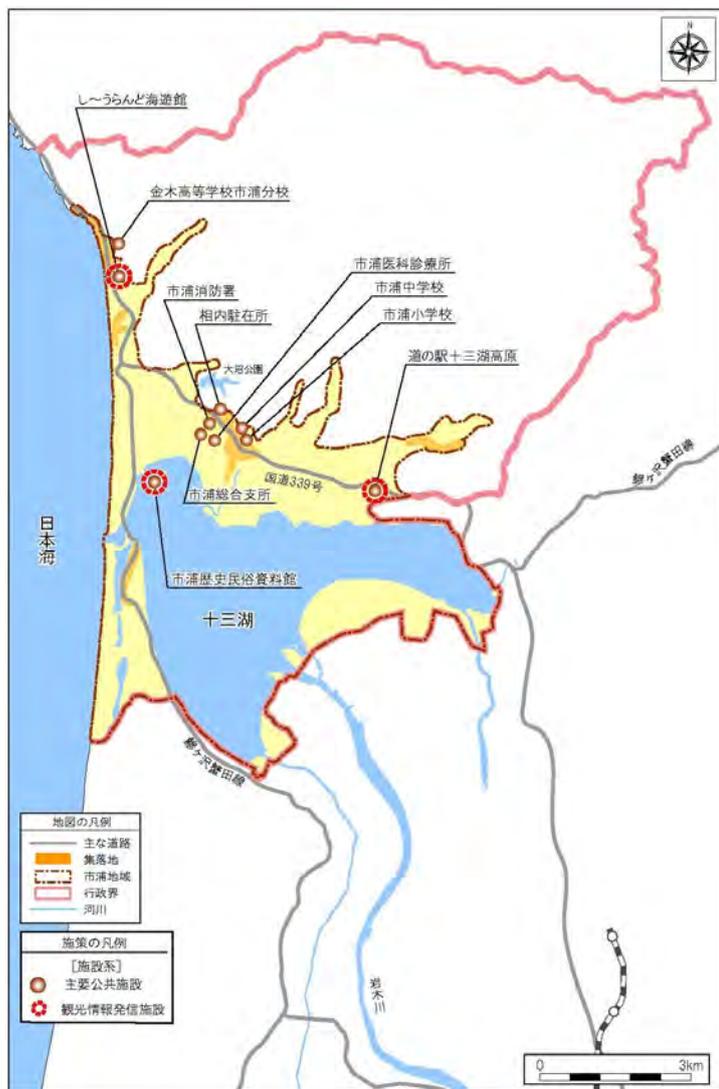
#### ○ 良いところ、 残したいところ

- ・ 脇元地区海辺ふれあいゾーン
- ・ 周辺環境と調和した木造建築
- ・ 大自然の景観美
- ・ 整備された農林水産施設
- ・ 美しい街並み
- ・ 新エネルギー
- ・ 防災無線

#### ○ 問題点、 改善したいところ

- ・ 狭あい道路
- ・ 低・未利用地の有効活用
- ・ 観光案内板の修繕
- ・ 過疎集落への対応
- ・ 老朽化した危険な建物
- ・ 津波対策

### ◇ 地域づくりの方針図（市浦地域）



### ◇ 地域づくりの方針

#### ○ 土地利用の方針

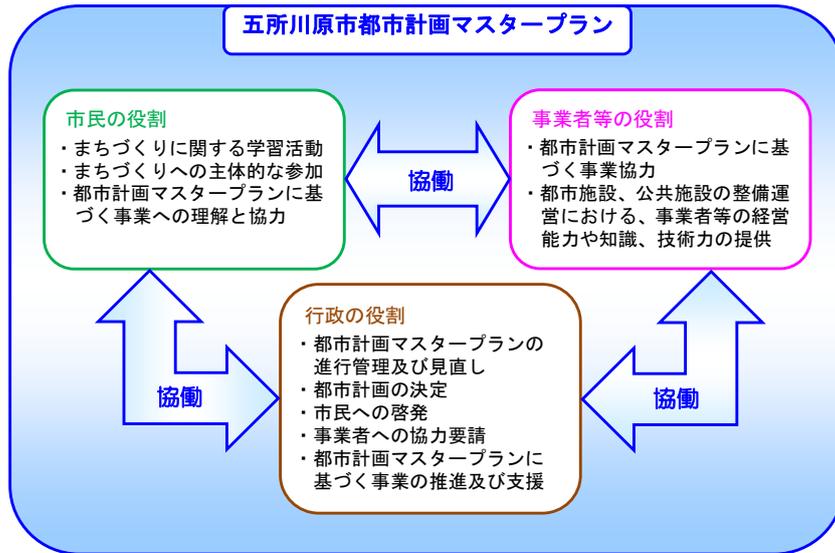
- ◆ 豊かな自然環境や歴史的背景を支える伝統を保全するため、基本的には都市的土地利用を抑制します。
- ◆ 市浦総合支所周辺及び国道339号沿道については、地域住民の日常生活の利便性を確保し、集落コミュニティの維持・活性化を促進するため、既存の都市機能の充実を図ります。
- ◆ 津波の被害が想定される集落や、過疎化が進みコミュニティの維持が困難な集落が顕在化していることから、安全安心なコミュニティづくりについて地域住民とともに検討し、持続可能なコミュニティを目指した土地利用を図ります。

#### ○ 都市構造・都市環境整備の方針

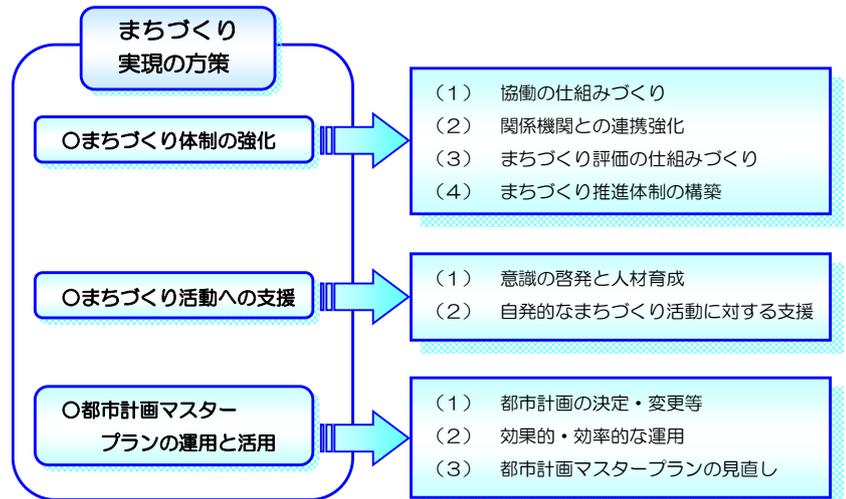
- ◆ 各集落間や市街地と集落地を繋ぐ主要幹線道路については、その道路機能を確保するため、適正な整備及び維持管理を促進します。
- ◆ 生活道路や通学路については、緊急車両の交通確保などの防災機能の向上や危険箇所の改善、冬期間交通への対応などについて、地域住民とともに総合的な検討を行い住民の要望に対応した道路整備に努めます。
- ◆ 集落地と市街地を結ぶ重要な交通手段である路線バス等については、その存続を促進し住民の利便性維持に努めます。
- ◆ 集落地と市街地を結ぶ重要な交通手段である路線バス等については、その維持存続を図り住民の利便性向上に努めます。
- ◆ 津波の被害が想定される地区については、地域防災計画に基づき適正な防災機能の整備・充実を図り、安全安心なまちづくりを推進します。
- ◆ 本地域の特性を生かした風力発電などの再生可能エネルギーの導入について検討します。
- ◆ 津軽国定公園（十三湖）や大沼公園、地域に点在する多くの遺跡などは観光資源として保全・活用するとともに、「道の駅十三湖高原」や「しーうらんど海遊館」も併せて観光情報発信の場として活用し、観光機能の充実を努め、交流人口の確保を図ります。
- ◆ 本地域の生業である漁業や農業、畜産業など豊かな自然の恩恵を受けた多彩な産業の振興を図るため、生産施設の充実を促進するとともに、生産環境の保全を図ります。
- ◆ 老朽化した危険な建物や適正な管理がなされていない空き家等については、空き家条例などを活用し、住民の安全性確保と治安維持向上を図ります。

# □ まちづくりの実現に向けて

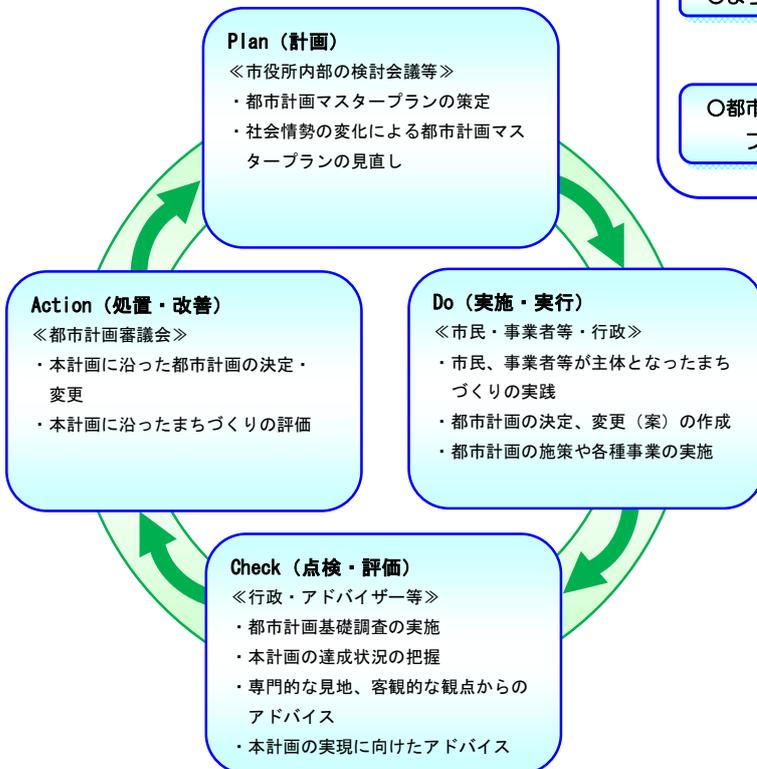
## ◇ まちづくり実現の役割分担



## ◇ まちづくり実現の体系



## ◇ PDCA サイクルフロー



### 連絡先

五所川原市役所 建設部 都市計画課 TEL : 0173 - 35 - 2111 (代)  
 E-mail : [tosikei@city.goshogawara.lg.jp](mailto:tosikei@city.goshogawara.lg.jp)